



## 2020年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年3月23日  
上場取引所 東

上場会社名 アークランドサカモト株式会社  
 コード番号 9842 URL <http://www.arcland.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (COO) (氏名) 坂本 雅俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 志田 光明 TEL 0256-33-6000  
 定時株主総会開催予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 2020年5月15日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年5月14日  
 決算補足説明資料作成の有無: 有  
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期の連結業績 (2019年2月21日～2020年2月20日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	112,684	2.5	9,575	△3.3	10,394	△2.4	4,846	△14.8
2019年2月期	109,913	4.4	9,904	5.4	10,647	6.1	5,689	5.2

(注) 包括利益 2020年2月期 5,838百万円 (△0.2%) 2019年2月期 5,852百万円 (△10.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年2月期	119.50	—	6.7	10.3	8.5
2019年2月期	140.29	—	8.3	11.3	9.0

(参考) 持分法投資損益 2020年2月期 89百万円 2019年2月期 89百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期	105,608	83,105	69.7	1,814.60
2019年2月期	97,069	78,991	72.6	1,738.48

(参考) 自己資本 2020年2月期 73,595百万円 2019年2月期 70,508百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年2月期	8,487	△8,453	1,678	20,118
2019年2月期	10,386	△6,979	174	18,354

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年2月期	—	15.00	—	15.00	30.00	1,216	21.4	1.8
2020年2月期	—	15.00	—	15.00	30.00	1,216	25.1	1.7
2021年2月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00		23.4	

### 3. 2021年2月期の連結業績予想 (2020年2月21日～2021年2月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	58,000	2.8	5,300	1.6	6,000	7.1	3,000	3.4	73.97
通期	115,000	2.1	9,800	2.3	11,000	5.8	5,200	7.3	128.21

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期	41,381,686株	2019年2月期	41,381,686株
② 期末自己株式数	2020年2月期	823,983株	2019年2月期	823,948株
③ 期中平均株式数	2020年2月期	40,557,708株	2019年2月期	40,557,738株

(参考) 個別業績の概要

2020年2月期の個別業績（2019年2月21日～2020年2月20日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2020年2月期	76,516	△1.0	5,202	△9.8	5,851	△12.7	3,821	△15.3
2019年2月期	77,297	0.5	5,770	2.2	6,699	3.9	4,510	3.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期	94.24	—
2019年2月期	111.21	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2020年2月期	75,692	61,904	81.8	1,526.34
2019年2月期	70,189	59,618	84.9	1,469.96

(参考) 自己資本 2020年2月期 61,904百万円 2019年2月期 59,618百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況

(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16
4. その他 .....	17
(1) 役員の変動 .....	17
(2) 事業・部門・品目別販売実績 .....	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善を背景に、緩やかな回復基調が続いているものの、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題等に加え、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主力であるホームセンター業界におきましては、業種・業態の垣根を越えた競争の激化、消費者の節約志向の継続、記録的な暖冬が影響し、依然として厳しい環境が続いております。

このような環境下、当社グループの当連結会計年度における売上高は112,684百万円（前期比2.5%増）、営業利益は9,575百万円（同3.3%減）、経常利益は10,394百万円（同2.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は4,846百万円（同14.8%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①小売事業

ホームセンター部門の売上高は、61,581百万円（前期比1.2%減）となりました。期初2月の住デポ新発田店、7月のニコペット京都八幡店及び8月のホームセンタームサン久喜菖蒲店・ニコペット久喜菖蒲店のオープンが寄与した一方で、前期2月にホームセンタームサン新発田コモ店及び住デポ厚木店が閉店したこと並びに既存店売上高が前期比3.8%減となったことによるものです。既存店売上高については、消費税増税前の駆け込み需要があったものの、その後の反動、春の低温、夏到来の遅れ及び記録的な暖冬が影響したことによるものです。

その他小売部門の売上高は前期7月の食品館新潟西店のオープンが寄与したことにより、7,062百万円（同10.8%増）となりました。

その結果、小売事業の売上高は68,644百万円（同0.1%減）、営業利益は3,134百万円（同17.0%減）となりました。

#### ②卸売事業

卸売事業の売上高は7,385百万円（前期比5.4%減）、営業利益は681百万円（同9.6%減）となりました。

#### ③外食事業

外食事業は、主力のとんかつ専門店「かつや」（国内・海外）のFCを含む店舗数が今年度純増29店舗の461店舗、「からやま」・「からあげ縁」も純増23店舗の117店舗となるなど、積極的な事業展開を行いました。

その結果、売上高は33,327百万円（前期比8.9%増）、営業利益は4,486百万円（同9.0%増）となりました。

#### ④不動産事業

不動産事業の売上高は2,883百万円（前期比3.0%増）、営業利益は1,288百万円（同4.4%増）となりました。

#### ⑤その他

その他には9月1日に事業承継したフィットネス事業「JOYFIT」5店舗及び「FIT365」1店舗、2月にオープンした「FIT365」2店舗を含んでおります。売上高は443百万円、営業損失は41百万円となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (総資産)

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比較して8,538百万円増加し、105,608百万円となりました。これは主に有形固定資産が4,948百万円、現金及び預金が1,772百万円増加したことによるものです。

#### (負債)

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末に比較して4,424百万円増加し、22,502百万円となりました。これは主に短期借入金3,800百万円、買掛金386百万円増加したことによるものです。

#### (純資産)

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比較して4,114百万円増加し、83,105百万円となりました。これは主に利益剰余金が3,466百万円、非支配株主持分が1,027百万円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比較して1,763百万円増加し、20,118百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、8,487百万円（前連結会計年度は10,386百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益9,658百万円、減価償却費2,660百万円、法人税等の支払額3,693百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、8,453百万円（前連結会計年度は6,979百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出6,974百万円、事業譲受による支出1,846百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1,678百万円（前連結会計年度は174百万円の獲得）となりました。これは主に短期借入金の純増額3,012百万円、配当金の支払額1,216百万円によるものです。

キャッシュ・フロー指標のトレンド

指標	2016年2月期	2017年2月期	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期
自己資本比率 (%)	71.1	71.8	73.9	72.6	69.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	51.9	66.1	80.3	60.3	45.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.3	0.4	0.1	—	0.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	867.3	1,570.0	3,229.0	10,916.9	2,343.5

(注) 各指標は、いずれも連結ベースの財務諸表数値により以下のとおり算出しております。

- 自己資本比率：自己資本／総資産
- 時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産  
株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
- キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー  
有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。  
キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を使用しております。
- インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い  
利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ホームセンター業界は、異業種を含めた競争が更に激化し、厳しい環境が続くものと予想されます。

ホームセンター部門では、「お客様に圧倒的に支持される店づくり」に一層努めてまいります。専門性を更に深耕するべく、差別化・競争力の向上に注力し、経営基盤の強化に努めてまいります。

その他小売部門においても、業態構築を進め差別化を図ってまいります。

卸売事業については、新規取引先の開拓を積極的に進めてまいります。

外食事業においては、「かつや（国内）」を直営・FC合わせて30店舗、「からやま・からあげ縁（国内）」を直営・FC合わせて28店舗、海外事業・その他の業態においても積極的に出店を行っていく計画です。

以上により、2021年2月期の連結業績見通しにつきましては、売上高115,000百万円、営業利益9,800百万円、経常利益11,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益5,200百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月20日)	当連結会計年度 (2020年2月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,354	20,127
受取手形及び売掛金	3,778	4,574
商品及び製品	11,594	12,285
原材料及び貯蔵品	13	14
その他	1,326	1,420
貸倒引当金	△8	△9
流動資産合計	35,060	38,413
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	64,698	71,482
減価償却累計額	△35,613	△37,609
建物及び構築物 (純額)	29,084	33,872
土地	13,101	13,472
建設仮勘定	950	328
その他	6,385	7,045
減価償却累計額	△5,433	△5,680
その他 (純額)	951	1,364
有形固定資産合計	44,088	49,037
無形固定資産		
のれん	134	541
借地権	1,728	1,718
ソフトウェア	96	116
その他	52	339
無形固定資産合計	2,012	2,714
投資その他の資産		
投資有価証券	10,033	9,162
敷金及び保証金	4,599	4,513
長期前払費用	181	257
繰延税金資産	850	1,294
その他	248	219
貸倒引当金	△6	△5
投資その他の資産合計	15,907	15,442
固定資産合計	62,008	67,194
資産合計	97,069	105,608

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月20日)	当連結会計年度 (2020年2月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,691	5,077
短期借入金	—	3,800
未払金	1,284	1,221
未払法人税等	1,996	1,855
未払費用	1,747	1,832
賞与引当金	238	241
返品調整引当金	2	2
資産除去債務	3	—
その他	563	621
流動負債合計	10,527	14,653
固定負債		
社債	2,010	2,010
長期預り保証金	3,434	3,632
退職給付に係る負債	272	270
役員退職慰労引当金	180	180
資産除去債務	1,614	1,697
その他	37	58
固定負債合計	7,550	7,849
負債合計	18,077	22,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,462	6,462
資本剰余金	6,606	6,582
利益剰余金	57,191	60,657
自己株式	△641	△641
株主資本合計	69,619	73,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	889	576
為替換算調整勘定	△0	△42
その他の包括利益累計額合計	889	534
非支配株主持分	8,482	9,509
純資産合計	78,991	83,105
負債純資産合計	97,069	105,608

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年2月21日 至 2019年2月20日)	当連結会計年度 (自 2019年2月21日 至 2020年2月20日)
売上高	109,913	112,684
売上原価	68,312	68,769
売上総利益	41,601	43,914
販売費及び一般管理費	31,696	34,338
営業利益	9,904	9,575
営業外収益		
受取利息	9	18
受取配当金	120	177
仕入割引	305	291
受取手数料	16	14
リベート収入	110	111
為替差益	—	9
持分法による投資利益	89	89
その他	121	127
営業外収益合計	772	840
営業外費用		
支払利息	0	3
為替差損	3	—
社債発行費	12	—
その他	13	17
営業外費用合計	29	21
経常利益	10,647	10,394
特別利益		
テナント退店収入	27	—
店舗譲渡益	50	17
固定資産受贈益	39	—
資産除去債務戻入益	—	21
その他	9	19
特別利益合計	126	58
特別損失		
固定資産除却損	63	20
減損損失	254	488
解体撤去費用	23	40
店舗閉鎖損失	223	214
その他	4	30
特別損失合計	569	794
税金等調整前当期純利益	10,204	9,658
法人税、住民税及び事業税	3,485	3,561
法人税等調整額	△192	△77
法人税等合計	3,293	3,483
当期純利益	6,910	6,174
非支配株主に帰属する当期純利益	1,220	1,328
親会社株主に帰属する当期純利益	5,689	4,846



(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年2月21日 至 2019年2月20日)	当連結会計年度 (自 2019年2月21日 至 2020年2月20日)
当期純利益	6,910	6,174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,056	△308
為替換算調整勘定	△14	△32
持分法適用会社に対する持分相当額	12	4
その他の包括利益合計	△1,058	△336
包括利益	5,852	5,838
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,632	4,510
非支配株主に係る包括利益	1,219	1,328

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自2018年2月21日 至2019年2月20日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,462	6,603	52,718	△641	65,143
当期変動額					
剰余金の配当			△1,216		△1,216
親会社株主に帰属する当期純利益			5,689		5,689
連結子会社の増資による持分の増減		3			3
連結子会社株式の取得による持分の増減		△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	2	4,473	—	4,476
当期末残高	6,462	6,606	57,191	△641	69,619

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,945	0	1,946	7,500	74,590
当期変動額					
剰余金の配当					△1,216
親会社株主に帰属する当期純利益					5,689
連結子会社の増資による持分の増減					3
連結子会社株式の取得による持分の増減					△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△1,056	△1	△1,057	982	△74
当期変動額合計	△1,056	△1	△1,057	982	4,401
当期末残高	889	△0	889	8,482	78,991

当連結会計年度 (自2019年2月21日 至2020年2月20日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,462	6,606	57,191	△641	69,619
当期変動額					
剰余金の配当			△1,216		△1,216
親会社株主に帰属する当期純利益			4,846		4,846
連結子会社の増資による持分の増減		△12			△12
連結範囲の変動		△11	△163		△175
連結範囲の変動に伴う為替換算調整勘定の増減					
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△24	3,466	△0	3,441
当期末残高	6,462	6,582	60,657	△641	73,061

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	889	△0	889	8,482	78,991
当期変動額					
剰余金の配当					△1,216
親会社株主に帰属する当期純利益					4,846
連結子会社の増資による持分の増減					△12
連結範囲の変動					△175
連結範囲の変動に伴う為替換算調整勘定の増減		△18	△18		△18
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△312	△23	△335	1,027	691
当期変動額合計	△312	△41	△354	1,027	4,114
当期末残高	576	△42	534	9,509	83,105

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年2月21日 至 2019年2月20日)	当連結会計年度 (自 2019年2月21日 至 2020年2月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	10,204	9,658
減価償却費	2,323	2,660
のれん償却額	101	122
減損損失	254	488
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12	△1
受取利息及び受取配当金	△129	△195
支払利息	0	3
解体撤去費用	23	40
持分法による投資損益 (△は益)	△89	△89
固定資産除却損	63	20
店舗閉鎖損失	223	214
店舗譲渡益	△50	△17
為替差損益 (△は益)	—	△9
資産除去債務戻入益	—	△21
固定資産受贈益	△39	—
テナント退店収入	△27	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△31	△784
たな卸資産の増減額 (△は増加)	486	△398
その他の資産の増減額 (△は増加)	△38	△76
仕入債務の増減額 (△は減少)	△73	356
その他の負債の増減額 (△は減少)	436	△84
その他	△173	115
小計	13,477	12,003
利息及び配当金の受取額	123	181
利息の支払額	△0	△3
法人税等の支払額	△3,213	△3,693
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,386	8,487
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,402	△6,974
有形固定資産の売却による収入	65	32
無形固定資産の取得による支出	△38	△60
敷金及び保証金の差入による支出	△418	△212
敷金及び保証金の回収による収入	264	314
投資有価証券の取得による支出	△1,453	△136
事業譲受による支出	—	△1,846
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△55
長期前払費用の取得による支出	△1	△63
関係会社株式の取得による支出	△29	—
関係会社株式の売却による収入	—	461
その他	34	86
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,979	△8,453

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年2月21日 至 2019年2月20日)	当連結会計年度 (自 2019年2月21日 至 2020年2月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	3,012
長期借入金の返済による支出	△500	—
社債の発行による収入	1,998	—
預り保証金の受入による収入	276	337
預り保証金の返還による支出	△149	△140
配当金の支払額	△1,216	△1,216
非支配株主への配当金の支払額	△257	△314
その他	23	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	174	1,678
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,577	1,710
現金及び現金同等物の期首残高	14,777	18,354
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	52
現金及び現金同等物の期末残高	18,354	20,118

(5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、以下の事業内容に基づき「小売事業」、「卸売事業」、「外食事業」、「不動産事業」の4つを報告セグメントとしております。

- 小売事業……………ホームセンター店舗として「ホームセンタームサシ」「スーパーセンタームサシ」「ムサシプロ」「ニコペット」及びアート&クラフト専門店として「アークオアシス」、食品専門店として「ムサシ食品館」の経営等
- 卸売事業……………D I Y関連用品・園芸用品等の販売
- 外食事業……………とんかつ専門店「かつや」、からあげ専門店「からやま」を主力とした飲食店の経営等
- 不動産事業……………不動産の賃貸

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場価格等に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年2月21日 至 2019年2月20日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	調整額 (注) 1	連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	68,702	7,804	30,605	2,800	109,913	—	—	109,913
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	11,221	—	1,117	12,339	—	△12,339	—
計	68,702	19,026	30,605	3,918	122,253	—	△12,339	109,913
セグメント利益	3,774	754	4,116	1,234	9,879	—	25	9,904
セグメント資産	38,168	4,783	25,821	15,354	84,127	—	12,941	97,069
その他の項目								
減価償却費 (注) 3	1,395	113	422	360	2,291	—	32	2,323
のれんの償却額	—	—	101	—	101	—	—	101
減損損失	132	—	121	—	254	—	—	254
のれんの未償却残高	—	—	134	—	134	—	—	134
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額 (注) 3	1,074	11	1,085	3,027	5,198	—	39	5,238

(注) 1. 調整額は、以下のとおりです。

(1) セグメント間取引消去によるものであります。

(2) 当連結会計年度における資産のうち、調整額の項目に含めた全社資産の金額は12,941百万円であり、その主なものは、親会社での余資運用資金及び管理部門に係る資産等であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用に係る償却額及び増加額が含まれております。

当連結会計年度 (自 2019年2月21日 至 2020年2月20日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計			
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	68,644	7,385	33,327	2,883	112,241	443	—	112,684
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	10,974	—	1,352	12,326	—	△12,326	—
計	68,644	18,360	33,327	4,235	124,567	443	△12,326	112,684
セグメント利益又は損失 (△)	3,134	681	4,486	1,288	9,591	△41	25	9,575
セグメント資産	38,731	4,910	29,034	19,588	92,265	1,886	11,456	105,608
その他の項目								
減価償却費 (注) 4	1,498	105	446	487	2,537	93	30	2,660
のれんの償却額	—	—	69	—	69	52	—	122
減損損失	435	—	53	—	488	—	—	488
のれんの未償却残高	—	—	66	—	66	474	—	541
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額 (注) 4	1,032	281	859	4,699	6,873	259	1	7,134

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネス事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) セグメント間取引消去によるものであります。

(2) 当連結会計年度における資産のうち、調整額の項目に含めた全社資産の金額は11,456百万円であり、その主なものは、親会社での余資運用資金及び管理部門に係る資産等であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用に係る償却額及び増加額が含まれております。



**【関連情報】**

前連結会計年度（自 2018年2月21日 至 2019年2月20日）

1. 製品及びサービスごとの情報  
セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。
2. 地域ごとの情報
  - (1) 売上高  
本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。
  - (2) 有形固定資産  
本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。
3. 主要な顧客ごとの情報  
外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2019年2月21日 至 2020年2月20日）

1. 製品及びサービスごとの情報  
セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。
2. 地域ごとの情報
  - (1) 売上高  
本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。
  - (2) 有形固定資産  
本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。
3. 主要な顧客ごとの情報  
外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

前連結会計年度（自 2018年2月21日 至 2019年2月20日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2019年2月21日 至 2020年2月20日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

前連結会計年度（自 2018年2月21日 至 2019年2月20日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2019年2月21日 至 2020年2月20日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

前連結会計年度（自 2018年2月21日 至 2019年2月20日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年2月21日 至 2020年2月20日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年2月21日 至 2019年2月20日)	当連結会計年度 (自 2019年2月21日 至 2020年2月20日)
1株当たり純資産額	1,738円48銭	1,814円60銭
1株当たり当期純利益	140円29銭	119円50銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年2月21日 至 2019年2月20日)	当連結会計年度 (自 2019年2月21日 至 2020年2月20日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	5,689	4,846
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	5,689	4,846
普通株式の期中平均株式数 (千株)	40,557	40,557

(重要な後発事象)

当社の連結子会社であるアークランドサービスホールディングス株式会社は、2020年3月18日開催の取締役会において、株式会社ミールワークスの株式を取得し、子会社化することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

(1) 株式取得の目的

当社グループの飲食店の経営ノウハウ及びフランチャイズチェーン本部の運営ノウハウと、株式会社ミールワークスの業態プロデュースのノウハウ等を結集させることで、新たな事業の拡大に繋がると考えております。

(2) 株式取得の相手先の名称

小島由夫、株式会社ミールワークスラボラトリー、熊谷亜里、齊藤真仁 ほか

(3) 買収する相手会社の名称、事業の内容、規模

- ①被取得企業の名称：株式会社ミールワークス
- ②事業の内容：飲食店の経営及び飲食店のコンサルティング
- ③資本金の額：50百万円

(4) 株式取得の時期

2020年4月30日 (予定)

(5) 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

- ①取得する株式の数：17,220株
- ②所得価額：相手先との協議により非公表とさせていただきます。なお、取得価額は、第三者機関によるデューデリジェンスを実施し、双方協議の上、妥当な金額を算出して決定しております。
- ③取得後の持分比率：70%

#### 4. その他

(1) 役員の異動 (2020年5月14日付)

① 代表者の異動

該当事項はありません。

② その他の役員の異動

1) 退任予定取締役

取締役 松岡 実

2) 新任監査役候補

監査役 (常勤) 駒形 武彦

監査役 (非常勤) 田中 敏明

(注) 田中敏明氏は、社外監査役の候補者であります。

3) 退任予定監査役

監査役 (常勤) 山路 善幸

監査役 (非常勤) 木村 敏明

(2) 事業・部門・品目別販売実績

(単位：百万円、%)

部門別	前連結会計年度 (自 2018年2月21日 至 2019年2月20日)		当連結会計年度 (自 2019年2月21日 至 2020年2月20日)		前期比増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
卸売事業	7,804	7.1	7,385	6.5	△5.4
小売事業	68,702	62.5	68,644	60.9	△0.1
ホームセンター部門	62,326	56.7	61,581	54.6	△1.2
D I Y関連用品	17,626	16.0	17,131	15.2	△2.8
家庭用品	20,189	18.4	20,075	17.8	△0.6
カー・レジャー用品	7,309	6.6	7,227	6.4	△1.1
園芸用品	16,998	15.5	16,937	15.0	△0.4
その他	201	0.2	209	0.2	3.7
その他小売部門	6,376	5.8	7,062	6.3	10.8
外食事業	30,605	27.8	33,327	29.6	8.9
不動産事業	2,800	2.6	2,883	2.6	3.0
その他	—	—	443	0.4	—
連結売上高	109,913	100.0	112,684	100.0	2.5